



特集

新春を迎えて

トピックス

そばセミナー

理事会だより



あさがおの情報を発信していきます。どうぞご覧ください。

農産物直売所あさがおのブログ
「あさがおだより」開設！
<http://www.ja-asahikawa.or.jp/asagablog>

あさひかわホームページ <http://www.ja-asahikawa.or.jp>

2014

1



ステップ 1

安心・安定の不動産売買、
賃貸経営のご提案

建物計画、経営計画、資金計画等、初めての方にも心を込めて対応させていただきます。

ステップ 2

入居者の斡旋

共同住宅(賃貸マンション)における入居者の斡旋はもちろんのこと、契約業務についても代行いたします。

ステップ 3

万全の管理

共同住宅(賃貸マンション)における建物の管理、家賃入金管理、退去時の立会代行等をいたしますので、安心した不動産経営が可能です。

例えば… 土地・建物をお探しの方
アパート・マンションの経営をお考えの方

ご相談は、是非下記の各営業店窓口へ！

北海道知事 上川 (8) 705号



旭川協同総業株式会社

■ 本社 旭川市神楽5条8丁目1番16号

☎ (0166) 61-8966

■ 北部営業所 旭川市花咲町7丁目

☎ (0166) 54-4753

■ 豊岡・東光営業所 旭川市豊岡4条1丁目274番地の2

☎ (0166) 37-8611

金融窓口統合のお知らせ

実施日：平成26年2月10日(月)

金融窓口を統合する店舗

西神居事業支所と神居金融支所

業務継承店

神居金融支所

業務継承店所在地

旭川市神居2条10丁目2番6号

西神居事業支所における金融窓口業務の廃止日が平成26年2月7日(金)に決定いたしました。従いまして、平成26年2月10日(月)からはお取引のすべてが神居支所に移管されることになります。地域の皆様には長きにわたりご愛顧賜り深く感謝申し上げます。購買業務、西神居給油所および神居古潭簡易郵便局につきましては、今まで通り営業いたしますので、引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

白鳥隆志

昨年の地域の農業は、融雪が平年より5日遅れとなり、基幹作物の中心である水稲の播種作業をはじめ各種の春作業が遅れて開始され、さらに融雪後の天候も低温に推移したことから生育が心配されましたが、6月以降は天候に恵まれて各作物とも平年並みの生育状況に回復しました。その結果、水稲にあつては、農水省発表の10月15日現在の作況指数は全国102に対して上川管内は105と、3年続きの豊作年となりました。また、農産物の小麦、大豆なども総体的に収量、品質とも前年の水準を超える実績を確保できたことは、組合員の皆さまの不断の努力の結果と敬意を表します。

政權を尊い返した安部自民・公明新政權は、昨年後半から矢継ぎ早に新しい農業政策の方針を示し、わが国の農業を大きく変えていく意思を明確にしています。スタートしたばかりの農業者戸別所得補償制度の見直しと新しい日本型直接支払制度の創設、昭和45年度から続いてきた生産調

平成25年は、国内外ともに、まさに激動の年でありました。ＴＰＰ交渉につきましては、3月の交渉参加表明以降、交渉参加反対のもとで、関係機関・団体と連携をはかりながら、各種運動を展開致しました。かねてより懸念していたとおり、情報開示が極めて不十分な中、秘密裏に交渉が進行し、予断を許さない不透明な状況が続いておりますが、自民党並びに衆・参農林水産委員会の決議を順守し、状況によつては脱退も辞さない覚悟のもと、それぞれの国の事情に十分配慮した対応がなされるよう、政府・与党への強力な働きかけと併せ、国民世論形成に向け粘り強い運動を展開していく必要があります。

過般、政府は我が国農政の柱のひとつである米政策を大きく転換し、それに伴い各種助成金体系や経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設等がなされました。短兵急な政策転換に対して、生産現場では不安と混乱が渦巻いておりますが、改

責任な農協改革に発展する可能性もあります。

緊喫の課題であるＴＰＰ（環太平洋連携協定）協議の行方もまったく予断を許しません。政府は、参加阻止の大きな声を振り切って昨年７月から協議に参加しました。ご承知のとおり私たちの最大の要請は、農業分野の重要５品目（米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物）の関税の「聖域」を断固として守ることです。１２月にシンガポールで開かれた閣僚会合では、年内合意はなりませんでしたが、この「聖域」だけは何としても守らなければなりません。これまで私たちは、全国農協中央会をはじめとする系統組織や各農業団体、各種関連組織との連携のもとに、集会への参加や啓蒙活動に取り組み、交渉の行方を見守って

めて生産現場における取組み状況を十分検証しながら、生産者が意欲と将来展望を持つて経営展開ができるよう、より実効性のある仕組みを確立していくことが重要であります。また、政府は成長戦略の実現に向けて、農業・ＪＡ改革を課題のひとつに取り上げ、産業競争力会議や規制改革会議等において関連する議論を行っております。これら規制改革の動きに關しては、農業の役割や生産現場の実態に関する基本的な認識が十分でないことに大きな原因があり、北海道のような農業専業地帯の実情やＪＡグループの取組み状況等を十分踏まえた議論がなされ、本道農業の持続的発展に資するような政策が確立されるよう、働きかけを強化していく必要があります。

平成24年11月に開催した第27回J A北海道大会において、「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」について決議致しました。平成26年度は実践2年目にあたりますが、時代の変化を踏まえた中で、J Aグループの組織・事業機能の充実強化に向けた自らの取組みを進めつつ、一般消費者に対する情報発信を行いながら、本道農業並びにJ Aの強力な応援団づくりを進めていくことが重要であります。

国内外の情勢がめまぐるしく変化している昨今でありますが、今一度足元を見つめ直し、生産者の

内外ともに状況が厳しさを増すなか、私たちを取り巻く環境も多くの懸念材料があります。高齢化と農家戸数の減少、それに伴い多くの課題を抱えている農地の利用集積、また生産資材、燃料、配合飼料の高騰などによる生産コスト

トの上昇が大きく農家経済を圧迫しています。その中に於いても私たちは、厳しい自然環境と歴史の中で培つて来た農業生産の技と知恵を結集し、地域を守つて行かなければなりません。これまで全ての品目において、グリーン農業の推進、農業使用基準の遵守や農業飛散防止対策などに、鋭意、取り組んで来たところでありますが、これからも全国の消費者の皆さんに喜ばれる「物づくり」に最大の努力目標を置き前進して参ります。

私たちはいま、平成26年度を初年度とする「第5次農業振興計画・中期経営計画」の策定を準備しています。その推進を通して、ＪＡ北海道大会の「持続可能な北海道農業の実現と次代を担う協同の実践」の決議の旗印のもと、組合員の皆さんのご意見・ご要望をＪＡ事業の展開、運営に反映させ、地域の皆さまに愛され、信頼される「ＪＡあさひかわ」づくりに役職員一丸となって取り組んでまいる覚悟です。いつそうのご理解とご協力を切にお願いし、あわせて組合員とその御家族の皆様の御多幸を御祈念申し上げます。

新年のあいさつといたします。

本年もよろしくお願い致します。

代表漢獻堂	白鳥隆志	理	事	島山守穂	理	事	古澤祥弘	
代表漢孝恭	神田 悟	理	事	山下寿明	代表監事	高山彰久		
常務理事	土田孝夫	理	事	岩崎 裕	常勤監事	谷 徹		
理	事	千葉 明	理	事	岡田洋二	事	川邊 豊	
理	事	鈴木 剛	理	事	西田 守	事	近藤充弘	
理	事	大家勝廣	理	事	柿本憲昭	監	事	小杉寿幸

方々をはじめＪＡグループ関係者の意志と知恵を結集した中で各種課題を乗り越えていくという強い信念と実行力が求められています。現在の地域農業やＪＡの基盤を築いた我々の先人も、その時々々の時代背景のもとで、さまざまな困難に立ち向かってきたものと存じます。当然のことながら、ＪＡ・連合会も「組合員の営農と生活を守り向上させる」という目的を踏まえ、最大限の努力を傾注していかなければなりません。

さて、過般、日本の「和食」がユネスコ(国際教育科学文化機関)の世界無形文化遺産に登録される見通しであるとの動きがありました。我が国の食文化の素晴らしさが世界的にも認知されたわけですが、そのことは、素材である我が国の農畜産物が評価されたといつても過言ではなく、日本の食料供給基地である北海道の果たす役割も極めて大きなものがあると存じます。国民の命に直結する農業は、我々の先代が永きにわたり、労苦を惜しまず築き上げてきたものであり、その役割・重要性は将来にわたり、いささかも変わるものではありません。農業は国家百年の計に立つた中で、将来にわたり引き継いでいくべき重要な産業であり文化であります。

今年の干支は、午年(うまだし)です。予断を許さない情勢が続いておりますが、馬のごとく力強く、またさっそうと駆け抜けていく気概をもつて頑張りましょう。

結びになります。本年が天候に恵まれ実りの多い年となりますよう、併せて北海道農業並びにJAGグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



飛田稔章

JAあさひかわ稲作連絡協議会道外視察研修会

JAあさひかわ稲作連絡協議会は、12月9日(月)～12月11日(水)の3日間による道外視察研修を開催した。稲作連絡協議会としては初めての道外視察研修会に、中田義美会長はじめ役員7名、ホクレン米穀課からは大和係、事務局としてJA職員2名の計10名での研修会になった。農業を取り巻く多くの問題に対する情報の交換や北海道産米の道外販売現状などを把握するため、新たな取り組みとして道外視察に踏み切った。

千葉県の株式会社ニチレイフーズ船橋工場では、徹底した衛生管理のもと商品の製造から包装までの製造ライン



を視察した。商品の試食では実際に販売されている冷凍食品を頂き、非常に良食味であり旭川でも栽培しているきらら397も使用されていた。

東京都ホクレン販売本部での米穀販売情勢の講義の中で、ゆめぴりかの知名度が飛躍的に伸びており、北海道産米の今後が注目されているとのことがあった。

2日目には、サトウ食品工業株式会社東港工場では加工ラインやパックご飯の試食会などが行われた。北海道産ゆめぴりかを使用したパックご飯の試食では、パックご飯とは思えないおいしさに一同も納得した様子であった。自社独自に開発した製法により、香り、食感、甘さいずれも違いは明確でありサトウ食品のこだわりを象徴していた。

「TPP決議の実現を求める国民集会」開催される

12月3日(火)、東京都千代田区の日比谷野外音楽堂で「TPP決議の実現を求める国民集会」が開かれ、あさひかわ農業協同組合からは白鳥組合長が参加した。この集会にはJAグループをはじめ、TPPを問題視する多くの団体が参加。参加者は、重要品目を関税撤廃対象から除外することなどを求めた国会や自民党の決議を厳守するように求める決議を採択。集会終了後はデモ行進が行われ、参加者たちは「重要5品目断固死守」を強く訴えた。

新潟県「JA全農にいがた」への訪問ではこしひかりの情勢についての講義の中で、今年のコシヒカリの品質やゆめぴりかの認識など細かいところまで聞くことができ、トップブランドのあり方を考えさせられた。

最終日には、西武池袋店、北海道さんこプラザを見学し、北海道の農産物を扱うアンテナショップは多くの人が詰めかけ大盛況であった。

今回の道外視察研修会では、北海道の農業を取り巻く多くの問題に明るい兆しを見いだした有意義で意味のある研修会となった。



新年挨拶



青年部部长

荒川 始

新年挨拶



女性部部长

中家由美子

皆様、明けましておめでとうございます。組合員の皆様方におかれましては日頃より青年部活動に対して多大なるご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。また、部員の皆様におかれましては日頃より青年部活動へご参加、ご協力頂き厚くお礼申し上げます。

そのような中ですが、私たち青年部は活動を通じて、組織の役割を十分に理解し、互いに情報交換、交流を深め活動に取り組んでいきました。中でも昨年の勉強会「農業クラウドシステム」等は、スマートフォンやタブレットPCを活用し、営農の作業スケジュールや農薬、肥料、機械の管理などこれからの農業に必要不可欠な物だと思いました。

昨年は非常に天気にメリハリのある年だったと思います。春の低温から始まり夏の高温、秋が急ぎ足で駆けて行き本日に農業者泣かせの一年だったと感じております。

水稲関係で言いますと、農業を何十年も営んでいる諸先輩方でも経験された事のない日照不足による低温で苗の生育に非常に苦労しました。その後、天候は回復しましたが連日連夜の高温により秋の収穫作業の時にはシラタや肌白に悩まされました。

野菜関係では、同じく天候に左右され収量や病気などに悩まされたと聞いておりますが例年より単価が上回った品目が多く例年同様の収益があげられたと思います。

また、世間を取り巻く状況ですが、TPP問題・減反政策廃止、消費税増税など営農に関わりの有る問題点が山のようにあり、世の中はもの凄いスピードで駆け巡っております。しかし、私たち青年部は、旭川の農業、北海道の農業、日本の農業を守りつつ牽引しなければなりません。農業情勢は日々変化しており部員の皆様には夢や目標を持つてこれからの青年部活動に営んで頂きたいと思っております。

最後になります。組合員の皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、念頭ご挨拶とさせていただきます。

新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日頃より女性部活動に多大なるご支援、ご理解を頂き心より感謝申し上げます。また、役員、部員の皆様におかれましては日頃より女性部活動へのご参加、ご協力頂き厚くお礼申し上げます。

平成25年度の女性部の活動は7月に一日研修を行い北海道伝統工芸美術村を見学し、落語を観賞いたしました。127名という大勢の部員さんに参加して頂き、笑いとともに日頃の疲れを吹き飛ばす一日となりました。

10月には役員研修で剣淵女性部との交流をいたしました。剣淵には女性だけの「ニラ部会」があるそうで、ニラの収穫後に切り口まで盛土をし、追肥をする。葉先のとがったニラが収穫できるなど、いろいろ勉強になりました。

11月には全体研修を行い、81名もの参加を頂き、部員交流の場となりました。

上川地区女性協議会の活動では、7月に管外役員研修会、8月に一日研修会、11

月に北海道家の光大会、12月に上川地区女性協議会60周年式典・研修大会など様々な行事に参加させて頂き、見聞を広めさせて頂いたのはもちろんですが、たくさんのお出逢いを頂き心より感謝しています。部長就任の際、ともかく「楽しいことを」と申し上げましたが、ごめんなさい、一番楽しかったのは私かもしれません。

農業情勢は日々変化し、TPP問題など難しい事態が起きていますが、農業は命を生み守り育む誇り高き仕事です。自然相手で大変なこともあります。仲間とともに頑張りましょう。TPPに負けないぞ!!

今年度の女性部行事も残りわずかとなりました。多くの方にご協力・ご支援頂きましてありがとうございました。

今後も女性部活動への積極的なご参加、ご協力、また、より良い組織とするためにお力をお貸し頂きますようお願いし、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

JAあさひかわ青年部地元農産物PR活動

10月26日(土)・27日(日)の2日間、農産物直売所「あさがお」の神楽店(26日)・永山店(27日)において、地元農産物のPR活動を行った。

活動としては、米穀農産課と協力の上、あさひかわ産「ゆめぴりか」5kg袋の数量限定値引販売と、「あさがお」で買い物して頂いた方への商品券の発行を行った。

当日は、普段ゆめぴりかを食べていない方にも買って頂くこともでき、2日間を通し88袋のゆめぴりかを販売することが出来た。また、商品券の発行により「あさがお」の売上も大幅に上がり、青年部員は、地元農産物PR活動の効果を感じているようであった。



JAあさひかわ青年部一泊視察研修

JAあさひかわ青年部は、11月6日(水)・7日(木)の2日間、部員22名、事務局1名の計23名参加のもと、札幌方面での一泊研修を実施した。

この視察研修会は、例年、青年部事業の一環として開催しているもので、今年は深川マイナリーと、スター農機を視察した。

深川マイナリーでは、あいにく米の調整作業が終わっていなかったことで、施設内を見学することができなかったが、上川ライスターミナルとは違った、出荷・精算のシステムにみんな興味を抱いているようであった。

スター農機は、道内の農機具屋ではめずらしい製造工場があり、日々製造ラインの円滑化、省力化に努めており、ラインによっては女性でも携わることのできるラインがあ



るなど、さまざまな工夫をしている現場にみんな関心を抱いているようであった。

今回の研修は、青年部員も興味と関心を得たようで、非常に有意義なものとなった。

JAあさひかわ青年部 JA役職員との意見交換会・勉強会を開催

12月10日(火)、JAあさひかわ青年部がJA役職員との意見交換会・勉強会を開催した。農協役職員を来賓として招き、意見交換会を開催。青年部員には、JAの役職員に直接質問できる数少ない機会ということもあり、33名の部員が出席した。

大槻経済部長による事業報告を受けたあと、農協の運営や今後の方針についてなど、予定の時間を過ぎてもさまざまな活発な意見が交わされた。



また、勉強会では、富貴堂ユーザックより本田和行社長を招き、農業クラウドシステムについてご講演を頂いた。

農業クラウドシステムにより、生産計画や作業日誌、収穫管理のデータを入力し、情報共有や過去との比較分析で、合理化や将来を予測した農業経営につなげると説明して頂き、受講者は大いに関心を抱いていた。

その後、懇親会を開いて親睦を深め、勉強会は盛会の内に終了した。

第7回江丹別そばセミナーを開催！ 全国高校そば打ち大会第2位旭川農業高等学校生徒にそば打ち指導

11月11日(月)午後1時20分より、農産物直売所「あさがお」永山店において第7回目の江丹別そばセミナーが旭川農業高等学校生徒10名を対象に開催され、そば打ち実演講習会を実施した。講師に今年はアグリネットそば打ち研究会会長山下敏雄氏をお招きし、神田専務から「そば打ち人気のなか、そば粉の産地にこだわる人も多い。寒暖の差が大きく、安全・安心な江丹別産そばは、地区内の製粉工場できちんとて供給しています。ぜひ食べ比べてほしい」と挨拶頂いた。

講師の山下氏は、そば打ちで四段位を習得しており、日頃より旭川市内でそば打ち講習会の開催等を行っている。

説明を交えたそば打ちデモンストレーションでは、会場に集まった生徒や市民が真剣に視線を注いでいた。その後、2班に分けて個別指導を実施、2時間にわたる直接指導を受け、全員がみごとな手打ちそばを完成させた。なかには全麵協が主催する素人そば打ち初段位の認定を受け

ている生徒が3名、式段の認定を受けている生徒が2名おり、山下氏が旭川農業高等学校に数回指導に出向いた結果とのことであった。

講習を終え、「のしが苦手で力の加え方など大変参考になった」、「山下先生の打ったそばはのど越しが違い美味しい」と具体的に感想を述べる生徒もあり、全員が口々に「楽しかった・勉強になった」と有意義な時間を過ごした。



JAあさひかわ コンプライアンス研修会を開催

11月11日(火)に神楽支所、11月13日(木)本所、11月15日(火)永山支所において全職員を対象としたコンプライアンス研修会および情報セキュリティ研修会が開催された。

コンプライアンスとは何かからはじまり、JAとしての心構え、また各種の行動規範や実際の問題事例を挙げて学ぶ研修が行われた。そして職員の代表が順番に資料を音読した。研修のなかでは不祥事についてのDVDを鑑賞し、コンプライアンスに対する意識を高めた。

実際の業務を想定してのコンプライアンスとは何かを考える研修であったので、職員の理解度も高く、今後、JA職員としてあるべき姿を考える有意義な研修であった。

コンプライアンス研修会終了後に、情報セキュリティ研修会も実施された。情報セキュリティの定義、大切さ、また日々の業務における注意事項、JA内での対策について説明がなされた。



JAあさひかわメンタルヘルス研修会を開催

11月18日(月)、本所において管理監督者向けにメンタルヘルス研修会を開催した。メンタルヘルス対策支援センターのメンタルヘルス対策促進員である間瀬田あい子氏を講師に迎え、職場におけるメンタルヘルス、ストレスの現状について説明を受けた。

研修では心の健康問題の特性、部下のストレスへの気づき、対処法、そして注意すべきポイントを学んだ。



女性部全体研修開催

11月25日(月)、JAあさひかわ女性部(部長・中家由美子、部員256名)の全体研修会が、JAあさひかわ本所大会議室で開催された。

81名の部員が参加し、午前中は経済部秋元審査役を講師に迎え、「TPPと食料安全保障について」の講演を聞き、改めてTPPについて考えさせられた。その後、「全国家の光大会」のDVDを鑑賞し、仲間との絆の大切さを痛感させられた。

午後からは、支所混合でチームを作り、各支所で考えた背中に文字を書く伝言ゲームや、いろいろな種類の豆を菜



箸で移すゲームなど5つのゲームを行い、和気あいあいとした交流の場となり、笑いとともに普段の疲れも吹き飛ばす有意義な一日となった。

和牛種牛造成!!

江丹別地区組合員(農)牛匠(ギョウショウ)の繁殖した雄牛が、見事種牛として合格した。

名号は「牛匠」から一文字取り「匠」(タクミ)と名付けられ、精液については、26年4月頃に一般販売となる予定。

この「匠」号の母牛は、全道で約12万頭いる繁殖牛*の中で育種価*上位に入る素晴らしい成績であり、前産で生まれた牛(匠号の兄)は枝肉重量、霜降りが大変良好であることがわかり、また、同時期に弟であるこの「匠」が出生したことが判明し、(社)ジェネティクス北海道より「種牛として育ててみてはどうか」と提案を受けた。

しかし、種牛になるためには、各種遺伝子検査に合格

する必要がある。また、多数の種牛候補牛の中から選抜選考があり、大変狭き門である。

(農)牛匠代表の北井伸幸さんは、「匠は子牛の頃から風邪など病気にかかったことが無く、成長が良好であり、(社)ジェネティクス北海道に種牛候補として買い上げてもらいましたが、まさか本当に種牛になるとは…」と驚いた様子。

(社)ジェネティクス北海道道北事業所の斎藤氏は、「今回種牛となった「匠」号は、同血統の種雄牛としては最も審査得点が高いことから、発育と資質に富んだ種雄牛として活躍することを期待している」と話している。



※育種価…牛の産肉能力
※繁殖牛…子供を産む牛

総合推進室 T A C 活動状況報告



今回は、中央・旭正地区担当 朝倉道人の活動状況を報告いたします。

中央地区の主要農産物は、水稲、そば、野菜(きゅうり、小ねぎ、レタス等)、花卉(トルコギキョウ)、旭正地区では、水稲、白・黒大豆、秋・春小麦、野菜(小松菜、チンゲンサイ、トマト、ピーマン等の葉菜類・果菜類)、花卉(トルコギキョウ、スターチス等)です。

私は旧JA旭正へ入組後、Aコープ、青果課へ配属、合併後は営農販売課(青果担当)、旭正営農センター、購買課兼神楽営農センターを経て平成25年2月に新設されました総合推進室へ配属となりました。

総合推進室は農業経営者の総合的な窓口として、恒常的に出向く活動を中心に、中央地区21戸、旭正地区114戸の担い手および稲作・青果物等の生産農家への訪問活動にて多数の意見・要望を頂き、各部署・各関係機関と連携し対応を行った。その一例として、

【要望】農作物に病害虫の発生が見られる。また、水田雑草を処理したい。

《対応》病害虫や雑草等の生産技術指導については、米穀農産課各担当者や普及センターと連携し指導対応を行いました。

【要望】肥料・農薬等の価格が他業者より高く価格を下げて欲しい。



《対応》肥料・農薬等の生産資材の価格対応については、購買燃料課を中心に、どのような対応ができるのか関係部署と協議し、単肥・化成肥料等に値引き対策を講じ、購買燃料課・米穀農産課と連携し取りまとめ推進を実施いたしました。

この他にも、10月から11月にかけてアンケート調査を実施し、総合推進室(TAC)が設置されて良かったですか?では80%の方が良かった、伝えた意見要望が改善されているかでは72%の方が改善・まあまあ改善されている、どのような活動を望みますか?では、生産技術支援・各種申請手続き支援の回答が多く、情報提供については78%の方が役に立ったとの回答を頂きました。また、今後どのような事を求められますかについては、

- ・今後も定期的な訪問と情報提供を行って欲しい。
- ・経営状況を見て助言や指導による経営相談が行える部署になって欲しい。
- ・若手農業者の意見を取り入れ、地域に合った指導を行って欲しい。
- ・生産技術指導及び購買商品説明が行えるようになって欲しい。
- ・窓口的な部署として幅広く意見や要望を聞いて各部署と連携し対応して欲しい。

等、多数の要望を頂く事ができました。

会話による信頼関係の構築、意見・要望等について各部署・各関係機関と連携し課題解決・事業改善に取り組み、農家所得向上とより良いJAを目指し頑張っ参ります。

Tとことん、**A**会って、**C**コミュニケーション!!

神居基幹支所年金友の会 層雲峡温泉「ホテル大雪」にて温泉湯治実施

11月19日(火)から11月22日(金)の3泊4日の日程で、会員36名の参加により温泉湯治を実施した。11月19日、各地区をバスで巡回し午後3時頃ホテルに到着した。期間中は、輪投げ大会やパズル大会等予定された行事を参加者全員で行い楽しく過ごした。今年も昨年に続き、厚生連の協力を頂き、健康問題についての講演会を実施し皆さんとても感心がある様子だった。夕食の宴会ではカラオケや舞踊

等多くの方々が自慢の芸を披露し、大変な盛り上がりとなった。また、多くの参加者がゆっくりと温泉につかり、日頃の疲れを十分に癒し、22日無事帰宅した。



永山年金友の会 層雲峡温泉「層雲閣グランドホテル」にて温泉湯治実施

永山年金友の会(会長・杉山令吉 会員数175名)は、11月25日(月)から28日(木)の3泊4日の日程で、秋の温泉湯治を層雲峡温泉「層雲閣グランドホテル」で参加者32名により実施した。

今回の湯治は、ビンゴゲーム大会・カラオケ・パークゴルフに加え、JA厚生連の薬剤師を招き、衛生講和を皆真剣な表情でメモを取りながら聞き、薬に対する知識を深めていた。

1日目には白鳥組合長に来賓として出席頂き、2日目・3日目はカラオケを行い、楽しいひと時を過ごし、皆無事に

帰路に着いた。

回を重ねる度に湯治の参加人数が減少傾向にありますが、多数の皆さんに喜んで参加頂き、会員が増加するように永山年金友の会役員と事務局が中心となり、執り進めて参ります。行事の参加と入会を宜しくお願い致します。



● 退 職

日付	職 責	氏 名	役 職
11.30	推進役 準職員	菊地久美子 小笠原つや子	緑が丘金融支所推進役 神居金融支所貯金共済課係

● 異 動

日付	職 責	氏 名	新辞令	職 責	旧辞令
11.11	調査役	南 彰	豊岡金融支所長	調査役	豊岡金融支所長兼豊岡金融支所融資相談課長
	調査役	松原 仁	北部金融支所長	調査役	北部金融支所長兼北部金融支所貯金共済課長
	推進役	菅原 邦子	豊岡金融支所融資相談課長	推進役	東光金融支所長
	推進役	菊地久美子	緑が丘金融支所推進役	推進役	緑が丘金融支所長
	調査役	若月 郁子	北部金融支所貯金共済課長	調査役	末広金融支所長
	調査役	高橋 剛正	北部金融支所貯金共済課係長	調査役	末広金融支所係長
	調査役	山本 美紀	緑が丘金融支所長	主 査	神楽金融支所貯金共済課係長
	主 査	國枝 雅俊	豊岡金融支所貯金共済課係長	主 査	東光金融支所係長
	主 査	林 友里恵	神居金融支所貯金共済課係長	主 査	東光金融支所主査
	係	岩本 佳奈	忠和金融支所係	係	末広金融支所係
	係	石川 琴実	旭川中央金融支所貯金共済課共済担当係	係	神居金融支所貯金共済課係
	係	小西 李奈	豊岡金融支所貯金共済課係	係	東光金融支所係
	係	畠山 悠太	北部金融支所貯金共済課係	係	末広金融支所係
	係	山村 沙耶	神居金融支所貯金共済課係	係	東光金融支所係

農産物直売所「あさがお」神楽店でオクトーバーフェア開催する

10月26日（土）、農産物直売場「あさがお」神楽店でオクトーバーフェアが盛大に行われた。

当日は肌寒い天候だったが、通常より多くの消費者に来店頂き、われ先にと新鮮な直売農産物を両手に取り買い求めていた。穂の香では「江丹別産そば」を使用した「もりとかけそば」を安価で提供。

今回のイベントには、以前から果樹協会青年部より、地元の果樹を直接対面販売し、市民にアピールし理解して頂きたいと申し入れがあり開催となった。果樹協会青年部の対面販売では、試食販売で「昂林」、「つがる」、「ひめかみ」、「レッドゴールド」などの品種説明を行い、消費者は確認しながら購入していた。

また同日農協青年部も、新米「ゆめぴりか」を通常価格

より1割引きで販売し大盛況となった。

消費者に「安全・安心」な農畜産物・農産加工品をお届けし、農業に対する理解を深め、地域との結びつきを強くしていくことをこれからも目指して行きます。



応援よろしくお願いします！

広報誌9月号において、ご紹介させて頂きましたイメージキャラクターについてのご報告です。この度イメージキャラクターのシールが作成され、貯金・共済の粗品やお歳暮等に使用されることになりました。今後、皆様の目に触れる機会が徐々に増えてくると思います。シールだけでなく風船も作成しており、今後様々な展開をして行く予定です。JAあさひかわのイメージキャラクターをどうぞよろしくお願いします。



理事|会|だより|

第15回理事会

平成25年10月29日(火)

協議事項

1. 監事による第2四半期監査の回答について
2. 平成25年度9月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
3. 不祥事再発防止策実践状況について
4. 大口貸付について
5. 西神居事業所 金融窓口業務統合後の対応について
6. 北野地区国営事業に係る換地委員候補者の推薦について
7. 規程類の一部変更について
8. 組合員の持分譲渡について

報告事項

1. 平成25年度機械装置、工具器具備品に係る監査報告について
2. 内部監査の実施報告について
3. 農家経営対策組合員の実績状況報告について
4. 平成25年度JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について
5. 規程類の一部変更について
6. 地区内営農状況について
7. 平成25年度産米の出荷状況について
8. 営業時間の変更について
9. 組合員の加入及び脱退の状況について
10. 今後の日程について
11. 自己資本造成計画の進捗状況について
12. 総合推進室活動状況について
13. 農業協同組合経営体質強化指導事業に係る重点監視農協の選定基準に該当する項目の追加について
14. その他

第16回理事会

平成25年11月28日(木)

協議事項

1. 平成25年度機械装置・工具器具備品監査の指摘事項に対する回答について
2. 不祥事再発防止策実践状況について
3. 平成25年度10月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
4. 年末手当の支給について
5. 平成25年度 肥料・農薬大口奨励施策について
6. 大口貸付について
7. 忠別北地区道営土地改良事業換地委員会・委員の推薦について
8. 第5次農業・農協中期3カ年計画部門別運営方針について
9. 組合員懇談会の開催について
10. 規程類の制定及び一部変更・廃止について
11. 組合員勘定制度取引事務手続〈特別運用基準〉の設定について
12. 新資金の創設について

報告事項

1. 金融支所統合に係る監査報告について
2. 全国農業協同組合中央会期中監査の結果及び事務整備を要する事項について
3. 内部監査の実施報告について
4. 地区内営農状況について
5. 平成25年度産米の出荷状況について
6. 経営安定対策等各種助成金の状況について
7. 組合員の加入及び脱退の状況について
8. 年末年始の営業時間について
9. 平成25年度第4四半期余剰金運用方針及びリスク情報について
10. 貸出業務事務手続きの変更について
11. 貸出金利表の改定について
12. 子法人等9月末事業実績について
13. 人事異動について
14. その他



組合員数

正組合員	2,228 名
准組合員	27,256 名
合 計	29,484 名

出資金

出 資 金 残 高	2,136 百万円
販 売 取 扱 高	4,949 百万円
生産資材供給高	1,588 百万円
給 油 所 供 給 高	1,665 百万円
生 活 供 給 高	145 百万円
貯 金 残 高	96,130 百万円
融 資 残 高	15,456 百万円
長期共済保有高	1,994 億円

概要

おくりやみ

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

10/2	村田伴次郎さん	神居地区嵐山農事組合
10/3	池端 勝美さん	神居地区豊里農事組合
10/4	川合 成治さん	北野地区10区町内会
10/23	真鍋 正一さん	永山地区14区農事組合
10/21	神田 隆さん	神居地区江丹別中央地区農事組合
10/26	松木 鐵雄さん	神居地区嵐山農事組合
10/30	細川 進さん	旭正地区共栄6農事組合
11/6	前田 清さん	旭川中央地区親交(旭川北部)農事組合
11/7	浅野 量さん	旭正地区旭正12農事組合
11/7	三村 久彦さん	旭川中央地区高台(旭川北部)農事組合
11/13	梅田 貞子さん	旭正地区旭正12農事組合
11/15	古川 一男さん	旭正地区東部農事組合
11/16	山崎 照一さん	旭正地区旭正5農事組合
11/17	佐竹 勝さん	旭川中央地区神楽岡農事組合
11/18	井上 鶴一さん	旭正地区忠別2農事組合
11/22	西垣喜美子さん	永山地区その他地区農事組合
11/26	杉村 里治さん	旭川中央地区北門(旭川)農事組合
11/26	坂尻 要さん	永山地区その他地区農事組合
11/29	早川 義夫さん	永山地区その他地区農事組合